

直進安定性や旋回時の限界性能を高める、エアロダイナミック・グリップ。

強力なダウンフォースによるマイナスリフトと、空気抵抗の低減を高次元で両立。

超高速域でも安心感の高い走りを実現するために、空力によって高速走行時の操縦性と安定性を高めるマイナスリフトを追求。CFD(流体解析)や風洞テストを繰り返し、ニュルブルクリンクをはじめサーキットでの走り込みも重ねながら空力パーツの形状や配置を見極めていきました。迫力あるスタイリングにも貢献する大型リアスポイラーやフロントオーバーフェンダーは、強力なダウンフォースを発生。空気抵抗の悪化を抑えながらさらなるダウンフォースを得るために、フロア下面のほとんどをアンダーカバーで覆うとともに、フロントスポイラー、サイドシルガーニッシュ、リアディフューザーなど空力処理を徹底しました。また、速度域に応じてダウンフォースの前後バランスを最適化しています。これらによりCD(空気抵抗)の悪化を最小限にして最高速度270km/hを達成*するとともに、CL(揚力)のマイナスリフト化を実現することで、圧倒的な速さと優れた操縦性を両立しています。

※開発車のテスト走行による。Honda調べ

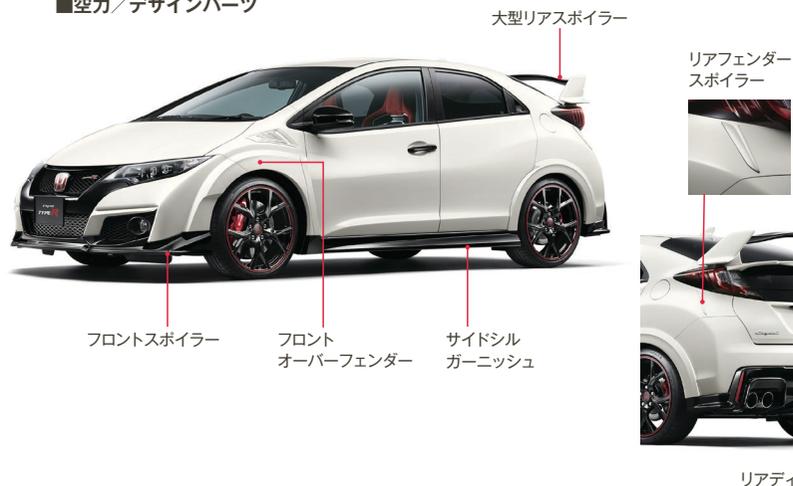


風洞実験

■マイナスリフトと空気抵抗低減の両立



■空力/デザインパーツ



■アンダーカバー

